

都市直下

警固断層地震

に備える

阪神大震災と西方沖地震から

新建福岡支部の2024年6月の例会は、福岡・住環境を守る会、九大箱崎キャンパスの跡地を考える会などの市民団体との共催で、天神ビックバンで沸き立つ天神の地下に潜む警固断層のリスクと目指すべき防災都市の姿に迫ります。お話を聞いて、自らの仕事をさらに深めたり、新たなヒントを探してみませんか？

語り手

後藤 惠之輔 氏

長崎大学名誉教授 工学博士

1942年福岡県生まれ。70年九州大学博士課程、九州大学助教授、長崎大学教授を経て2008年定年退官。防災、地球衛生観測、地盤工学、環境問題、福祉工学、産業遺産、感染症などに関わる。建設省、運輸省、国鉄、日本道路公団、長崎県、大村市などの各種委員を務める。

著書に「暮らしと地球環境学」（電気書院）「軍艦島の遺産」（長崎新聞新書）「バリアフリーと地下空間」（電気書院）など



お話し

語り手の後藤惠之輔先生は、29年前の阪神大震災を発災直後から7度にわたって現地調査し、福岡県西方沖地震の際も4度現地調査を行われました。そのご経験から、都市直下の警固断層地震への備えについて語っていただきます。

どなたでもご参加いただけます。

2024年6月5日(水)

19:00~20:45 (18:30~受付)

アミカス 視聴覚室

参加費 一般:500円(学生:無料)

※終了後(21:00~)に懇親会予定(要申込)

[HPから申込]

<https://nu-ae.com/fukuoka/>

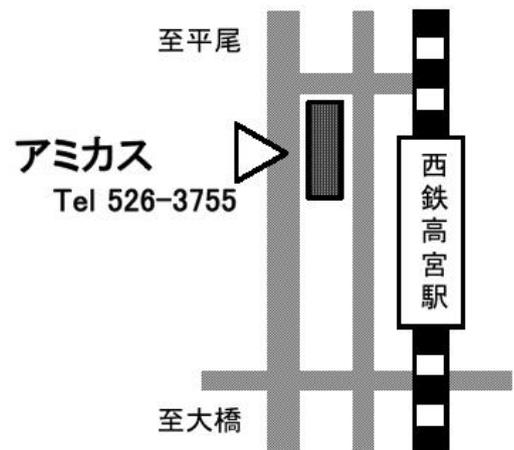
[FAXで申込]

092-541-8128



[Google Forms]でのお申し込みを推奨します↑。

<https://forms.gle/XZREhTSPUvTC9NHK9>



申込書	お名前	連絡先(MAIL 又は電話)	懇親会出欠	申込締切
			参加・不参加	5/24(金)